



松山 篤夫 議員

**豪雨に備えよう
流木対策、危険箇所の
把握を**

**豪雨時の流木災害
対策について**

問 九州北部豪雨の被害を拡大したのは大量の流木が橋梁に引っかかり、濁流をせき止め氾濫を招いたことが原因と分析されている。平成16年に台風23号が飛騨地方を襲い同様の被害が発生した。村山発電所付近の岩盤やJR追分鉄橋に流木が堰となり、溢れた水が集落を襲い大きな被害が発生した。流木による危険箇所を洗い出し、ハザードマップや避難計画に反映させるべき。市の取り組み策は。

答 次回のハザードマップの更新に併せ避難所や避難経路の検討・見直しをする。また、普段から流木による被害

の発生を想定し、河川の水位情報を監視するとともに危険箇所を把握し、安全な避難ができるよう河川や橋梁のパトロールを行うなどの体制をとる。

「高山市平和都市宣言」による平和についての考え

問 8月9日長崎原爆の日、長崎市長は核兵器禁止条約の交渉に参加しない政府を被爆地は到底理解できない旨を訴えた。来年度の核兵器廃絶と恒久平和を旨とする「平和首長会議国内都市会議総会」の本市開催が決定されたが、開催市の市長として長崎市長の発言に対する見解は。

答 長崎市長と同感である。



西田 稔 議員

**がんばっている消防
団に報いるために！**

消防団への支援について

問 消防操法大会に向けて出場班が独自にホースなど資機材を購入している現状があるが、支援の考えは。

答 消防操法大会は、消防技術の向上と士気の高揚を目的に実施しており、通常の消火活動用資機材で訓練を重ねる事が基本である。必要な物品は出勤班毎に様々であるため、一人当たり5千円支給している分団賞賜金の中での購入を考慮していた。だきたい。

問 賞賜金は活動に対する功労や感謝の意味合いで支給されるもの。そのようなお金で装備品を購入せよとの考えは、消防団で活躍されている団員に申し訳ないのではないか。

答 必要な資機材は団本部会議の中で意見を伺い、それを消防本部で取りまとめ、予算要求に反映する。

防災行政無線について

問 防災行政無線が聞きづらいとの市民の声があるが対策は。

答 防災行政無線スピーカーは、それぞれが近すぎると音の重なりが起り聞こえにくくなる。天候や地形、風の影響も受けるため整備時に伝播調査を行い最適に設定している。放送内容を聞き逃した場合は、電話3516000で直前の放送内容が確認できる。



谷澤 政司 議員

**世界恒久平和を
目指す取り組みを**

**問 来年度高山市で開催
予定の「平和首長会議
国内加盟都市会議総会」
の目的と内容は。**

答 国内加盟都市は1,683都市で、参加規模は約200名を予想。高山市から国内外へ平和推進の発信ができることは喜ばしいことであると思っている。

**下町地区は観光資質
の向上に永年貢献**

問 「飛騨匠の技・こころ」日本遺産に認定、「祭り屋台行事」世界ユネスコ無形文化遺産に登録の日下部民藝館と吉島家住宅、桜山八幡宮祭屋台会館は約50年間国際観光都市として貢献している。宮川人道橋整備に伴い、その地区へ回遊性を高める取り組みは。

北小学校の油漏れ

答 高山祭屋台や日本遺産を構成する文化財をめぐる周遊型ツアーの造成を旅行業者に働きかけていく。

問 昨年12月、5,000リットルの油漏れ事故が発生したが、北小と同じ年代に整備した他の学校でも老朽化が進んでいる。全国的に大地震が発生しているため、学校児童の安全性からも早期に対策整備を。

答 北小学校の地下タンクは設置から36年経過し、同様に36年以上経過した学校は6校ある。老朽化した設備は大きな課題であるため、今後の対応方法を検討する。